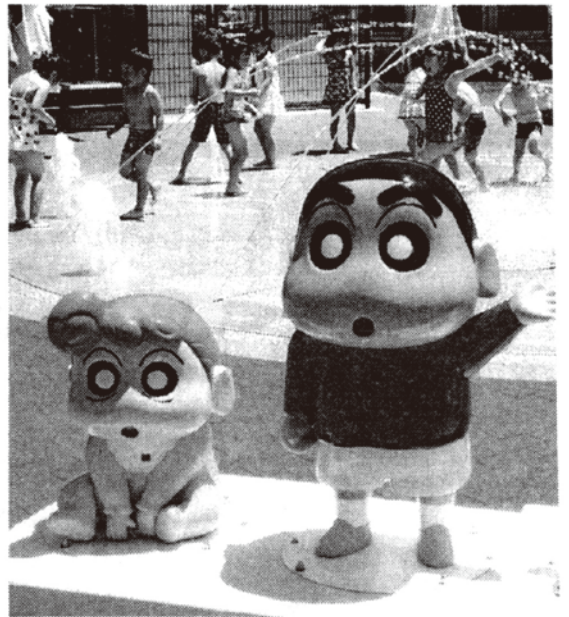


(第3種郵便物認可)

「しんちゃん

「しんちゃん」は「クレヨンしんちゃん」のキャラクターで、身長約90センチ、体重約45キログラム、スライダエリアには「風間くん」「ネネちゃん」「マサオちゃん」「ボーちゃん」の4体で身長は約90センチ、体重は約45キログラム、繊維強化プラスチック（FRP）を素材にしている。式では石川良三市長のあいさつに続き、漫画「クレヨンしんちゃん」の発行元、双葉社取締役の梓沢雅治事業局長が「世代



常設展示される「クレヨンしんちゃん」の
—春日部市牛島のエンゼル・ドーム

2008年にふじみ野市で指定暴力団住吉会系組幹部が射殺された事件で、組織犯罪処罰法違反（組織的殺人）などの罪に問われた指定暴力団山口組小西一家総長の無職落合益幸被告(66)＝静岡市駿河区＝の裁判員裁判の公判が8日、さいたま地裁（多和田隆史裁判長）で開かれ、検察側は無期懲役と罰金3千万円を求刑、弁護側は無罪を主張して結審した。判決は18日。検察側は、落合被告が最高に殺させた非常に組織性の強い犯行で、社会的に決して許されない。終生、社会から隔絶されるべきだ」と述べた。報復を意味する「返し」の犯行だったとして、「暴力団特有の論理に基づく反社会性の強い犯行」と指摘。「経済的にも割に合わない犯行と思わせる必要がある」と、銃刀法違反罪に基づいて罰金3千万円を合わせて求刑した。弁護側は、落合被告の指示はなかったと強調。犯行直前

時速6キロ 勇気ある旅

73歳女性 電動カートで礼文島縦断



北海道・稚内沖の日本海に浮かぶ礼文島で、島中の道路約100キロを最高時速6キロの電動カートで4日かけて走破したおばあちゃんがいます。さいたま市南区の内山久美子さん(73)で「自分と同じような足の不自由な人に、元氣と勇

北海道・礼文島の道路約100キロを電動カートで走破した内山久美子さん(73)。(礼文町提供)



北海道・稚内沖の日本海に浮かぶ礼文島で、島中の道路約100キロを最高時速6キロの電動カートで4日かけて走破したおばあちゃんがいます。さいたま市南区の内山久美子さん(73)で「自分と同じような足の不自由な人に、元氣と勇

気を与えたい」との思いを胸にハンドルを握り続けた。内山さんは文房具の卸売業を営んでいた約8年前、椅子から落ちて左膝を痛め、一時はつえが手放せなくなった。カートがあれば足が不自由でもあちこちに外出でき、気持ち前向きになるのでは。そう思ったが、市販車はサイズが大きく、操作も難しかった。そこで自分に合った

カートを作ろうと2011年、技術者を集めてカートメーカー「平耀(へいよう)」を設立。自社製品で長距離を走る挑戦も始めた。礼文は内山さんにとって、若いころに訪れ、高山植物の花が咲き誇る自然の豊かさに感動した思い出の島だった。2日午前9時、麦わら帽子姿で南部の香深(かふか)港フェリーターミナルを出発。途

中で休憩を挟みながら1日7時間ほど走り、夜は民宿などに泊まった。未舗装の道ではカートが進みにくくなる苦戦も強いられしたが、5日午後3時50分ごろ香深港に無事戻り、支援車が並走できる島の道路の完走に成功した。走行距離は102キロに達した。

内山さんの挑戦は今回が2度目。前回は5月、愛媛県今治市から広島県尾道市までのしまなみ海道約70キロを3日間かけて走破した。今秋には世界中から参加者を募り、山梨県・富士五湖のマラソンコース約112キロを走り抜ける計画という。